

島嶼会館島民アンケート調査 結果報告

平成28年12月

東京都島嶼町村一部事務組合

島嶼会館アンケート調査 結果報告

本レポートは2016年7月に実施した島嶼会館施設利用者へのアンケート調査の結果の報告である。
なお、本調査の分析は大成建設株式会社の受託および千葉大学大学院工学研究科宗方研究室の協力による。

0. 調査の概要

- ・調査期間：2016年7月～8月
- ・配布数：島嶼全世帯15,104枚
- ・回収数：2,830世帯分（回収率18.7%）
- ・調査項目：属性（島、性別、年代、職業）、島嶼会館利用有無・内容、宿泊施設への要望等。
選択式／一部自由記述。
- ・配布方式：東京都島嶼部の全世帯へ紙票の配布、郵送回収

§ 島嶼会館アンケート §		0001
日頃より、島嶼会館をご利用いただきまして誠にありがとうございます。 当会館が平成25年11月1日に開業して、間もなく3年を迎えます。お客様のご期待に、より一層お応えし、これからの更なるサービス向上を図るため、皆様からの貴重なご意見をお聞かせください。		
☆ 記入方法 ☆ 各項目の該当する□にレ点及びご記入下さいますよう、お願い致します。		
島名 ()	性別 (男・女)	年代 (歳代)
ご職業 (漁業・農業・建設業・小売業・飲食業・宿泊業・公務員・その他)		
1. 新しい島嶼会館が開業してからご利用になれましたか。 ☒ 宿泊したことがある (/ 0 回位) ☐ 東京都内に来ることがなかった (→裏面、問3以降をご回答ください) ☐ 東京都内に来ただけで宿泊したことがない →島嶼会館に宿泊されない理由を全てお選びください ☐ 知らなかった ☐ 設備が悪そう ☐ サービスのレベルが低そう ☐ 知人に会いたくない ☐ 予約が取りづらい ☐ 親戚などの家に泊まる ☐ 目的地に遠い ☐ 部屋が狭い ☐ その他 ※「その他」にご記入の方は、その理由をお聞かせください。		
2. 新しい島嶼会館をご利用されたことがある方は、以下の2-1～8にご回答ください。 2-1. 島嶼会館への主な宿泊目的は何ですか。 ☐ ビジネス ☐ レジャー ☒ 通院 ☐ その他 (ご記入) 2-2. 島嶼会館への1回のご宿泊の平均滞在日数をお答えください。 ☐ 1泊 ☒ 2泊～3泊 ☐ 4泊～6泊 ☐ 7泊以上 2-3. 島嶼会館をご宿泊される頻度をお答えください。 ☐ 月に数回 ☐ 月に1回 ☒ 2,3ヶ月に1回 ☐ 半年に1回 ☐ 年に1回 2-4. ご予約は、どのようにお申し込みされるかお答えください。(複数回答可) ☒ 電話 ☐ インターネット ☐ ご来館時 2-5. 島嶼会館の宿泊料金についてお尋ねします。 ☐ 非常に高い ☐ やや高い ☒ 妥当 ☐ やや安い ☐ 非常に安い (参考：現在の料金1名1泊の場合、5,900円～6,100円) (裏面へ)		

2-6. 客室については、以下のどのタイプがお好みですか。 ☐ 和室 ☒ 洋室 ☐ どちらでも良い	
2-7. 島嶼会館レストランをご利用されますか。(複数回答可) 朝食 ☐ 利用する ☒ 利用しない (☐ 外食 ☒ コンビニ ☐ その他) ご利用されない理由： ☐ 営業時間が遅い ☐ 料金が安い ☐ 通院のため ☒ おいしくない ☐ その他 (ご記入)	
夕食 ☐ 利用する ☒ 利用しない (☒ 外食 ☐ コンビニ ☐ その他) ご利用されない理由： ☐ 知らなかった ☐ 料金が安い ☐ 通院のため ☒ おいしくない ☐ その他 (ご記入)	
2-8. 島嶼会館を利用した全体的な満足度をお答えください。 ☐ 非常に満足 ☐ やや満足 ☒ ふつう ☐ やや不満 ☐ 非常に不満	
★以下の問3～7は全ての方がご回答ください 3. 島嶼会館をどのようにしてお知りになりましたか。 ☐ 当会館ホームページ ☐ 広報 ☐ 知人の紹介 ☐ 知らない ☐ その他 (ご記入)	
4. 宿泊施設を選ぶ際に、重要なこととして当てはまるものを全てお選びください。 (複数回答可) ☒ 宿泊料金 ☐ お食事 ☐ コンビニが近くにある ☒ 交通の便が良い ☐ サービス ☐ 設備が良い ☐ その他 (ご記入)	
5. 島嶼会館以外の都内宿泊場所についてお尋ねします。 最寄駅と主な宿泊目的をご記入ください。(ご記入) ☐ ビジネス ☒ レジャー ☐ 通院 ☐ その他 (ご記入)	
6. 島嶼会館を乗船等の前(帰路)に、ご休憩や待ち合わせなどにご利用されますか。 ☐ 利用する ☒ 利用しない	
7. 島嶼会館をご利用いただき良かった点、またはご不満な点やご要望などがあればご自由にご記入ください。	
ご協力誠にありがとうございました。 当アンケート回答用紙は返信用封筒にてお送りください。(平成28年8月10日(水)まで) 島嶼会館 (東京都島嶼町村一部事務組合)	

図 0-1 アンケート票 (記入イメージ 表裏)

1. 回答者属性

- ・合計回収数 2830 戸となった(図 1-1、表 1-1)。町村名不明は 31 名。
- ・回収率：島嶼部世帯(15,104 世帯)の約 19%の回収率となった。新島村の回収率が高く(30.5%)、他は 11~26%。
- ・年代分布(図 1-2、図 1-3)：全体では 60 代が最多。60 代以上が半数強。40 代と 50 代(グラフの灰色系)を合わせて 20%強であり、30 代以下(グラフの桃・赤・橙色)は 10%強しかいない。年代分布を町村別に比較すると、小笠原村は特徴的であり 40 代が最多と相対的に若い分布となった。御蔵島村・青ヶ島村・利島村も若い年代が多いがサンプル数が少ない。
- ・性別(図 1-4)：全体では概ね男女半々となり、町村別に見ても極端な偏りのある町村はない。
- ・職業(図 1-5)：「その他」が全体の 6 割となった。様々な年代や両性が「その他」を選んでおり(図 1-6、1-7)、「その他」の回答者が必ずしも年金生活者・主婦とは限らないと思える。無回答者は 164 人もあり、他の属性に比べて数多い。そのうち 8 割が 60 代以上であることから、年金生活者・主婦の一部が職業を回答しなかったと考えられる。

表 1-1 各町村の人口/世帯数と回収数

	人口	世帯数	回収数	回収率
大島町	8,053	4,783	944	19.7%
利島村	318	174	45	25.9%
新島村	2,787	1,368	417	30.5%
神津島村	1,902	888	200	22.5%
三宅村	2,605	1,696	295	17.4%
御蔵島村	308	171	40	23.4%
八丈町	7,754	4,421	468	10.6%
青ヶ島村	158	107	19	17.8%
小笠原村	2,594	1,496	371	24.8%
合計	26,479	15,104	2,830	18.7%

注：H28年7月の住民台帳による。回収数には町村不明の31票を含む

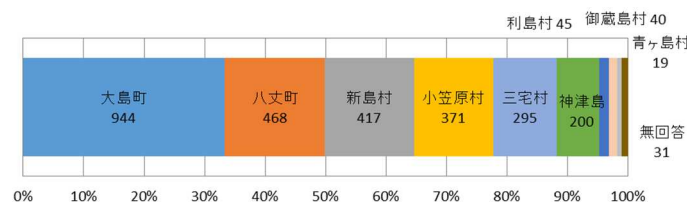


図 1-1 回答者の分布（町村別）（N=2830）

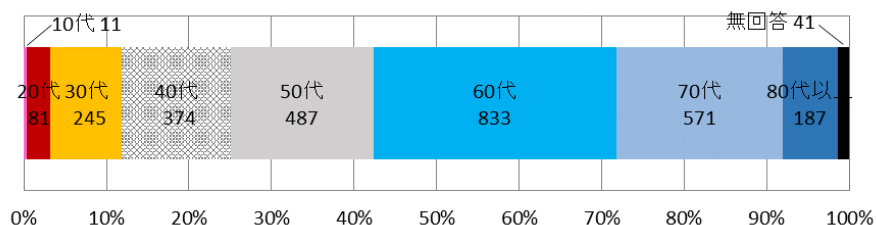


図 1-2 回答者の分布（年代別）（N=2830）

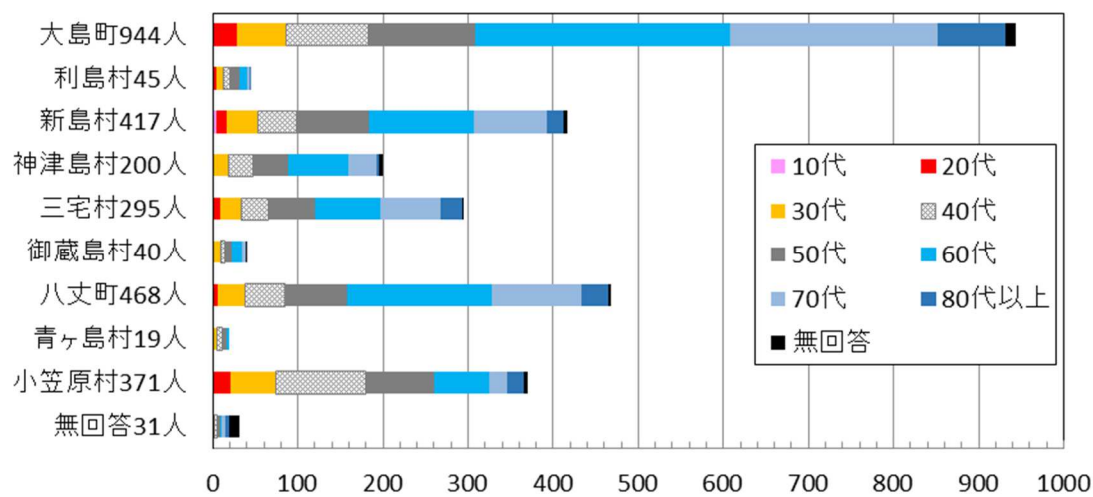


図 1-3 各町村の回答数と年代分布 (N=2830)

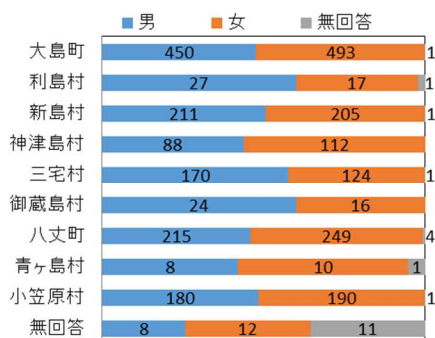


図 1-4 各町村の性別分布 (N=2830)

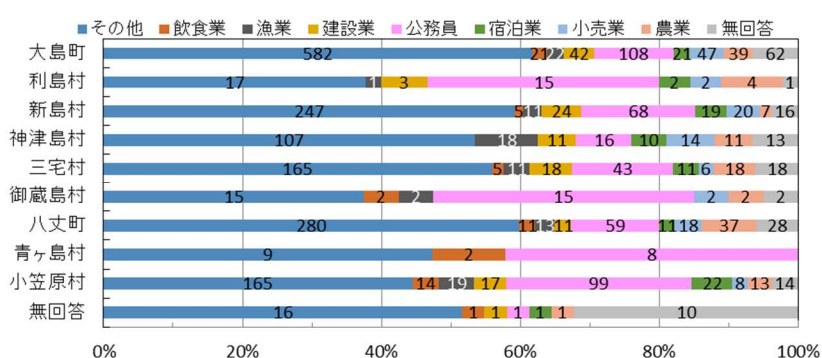


図 1-5 各町村の職業分布 (N=2830)

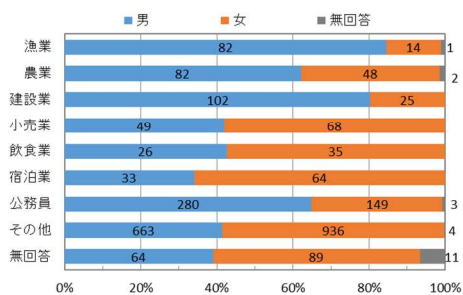


図 1-6 各職業の性別分布(N=2830)

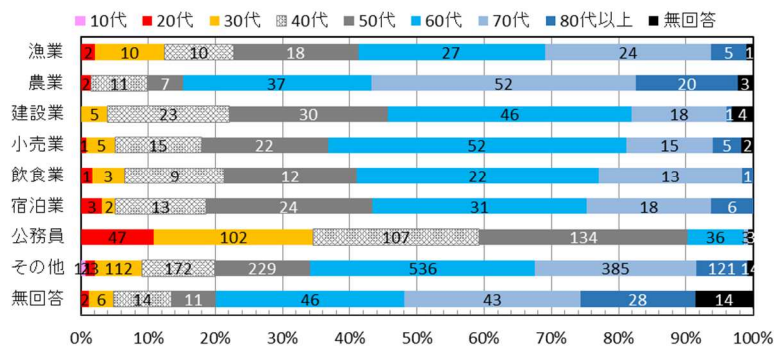


図 1-7 各職業の年代分布 (N=2830)

2. 利用傾向（問1）

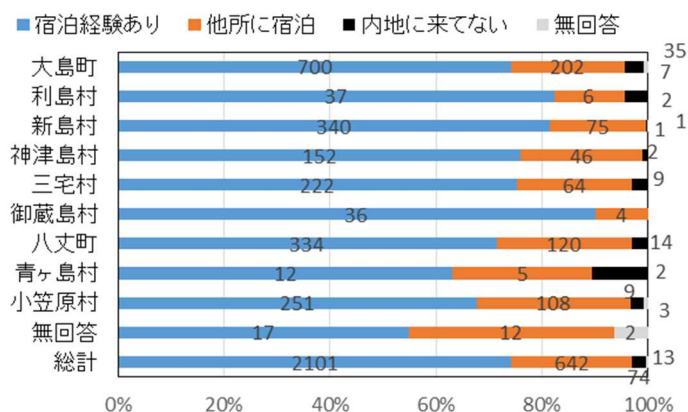


図 2-1 利用傾向（町村別）（N=2830）

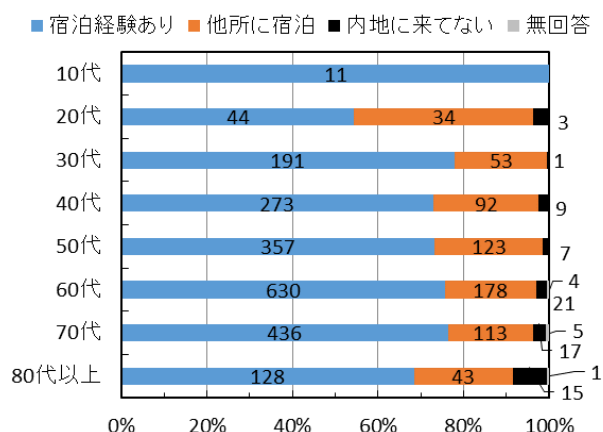


図 2-2 利用傾向（年代別）（N=2789）

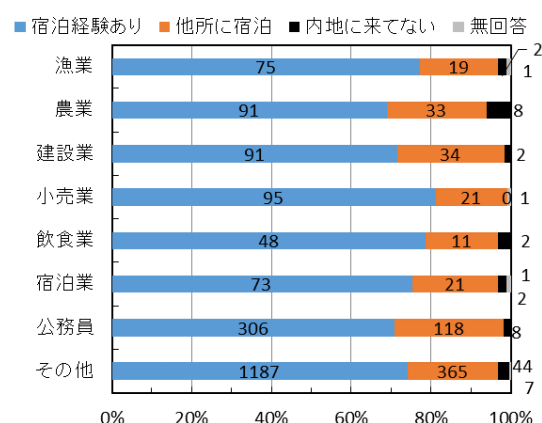


図 2-3 利用傾向（職業別）（N=2666）

- ・利用傾向（図 2-1）から、回答者の 7 割以上が島嶼会館の利用者である。詳細に見ると、町村ごとに若干傾向が異なる。回答数の少ない青ヶ島村を除くと、小笠原村が「東京に来た際に島嶼会館に泊まらず他所に泊まる」傾向が最も強い。
- ・年代別の利用傾向としては、10 代が 100% 利用している（図 2-2）。それ以上の年代となると、20 代の利用率が低いですが、30 代以上は大きな違いはない。
- ・職業別に見ると特に大きな差異は見られない（図 2-3）。図は割愛したが、性別による違いはない。

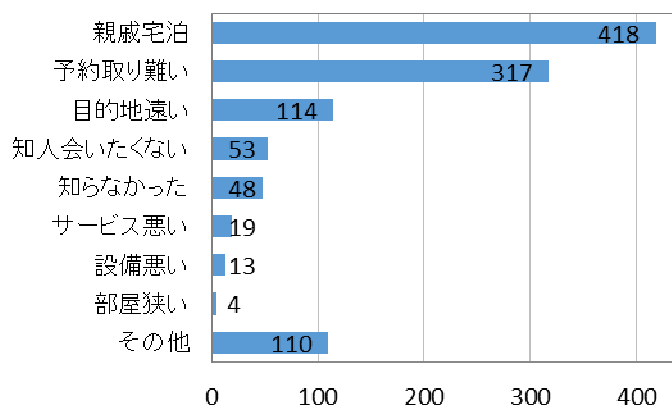


図 2-4 利用しない理由（複数選択式）

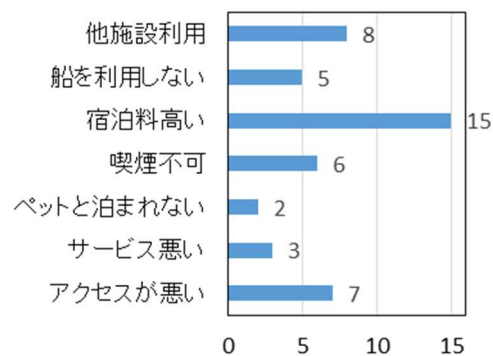


図 2-5 「他所へ宿泊」する理由（自由記述）

- ・「他所に泊まる」と答えた回答者（642 人）が挙げた利用しない理由（複数選択式）の分布を図 2-4 に示す。最も多かった理由は親戚宅（自身の家や家族を含む）へ泊まるという理由だった。施設に起因する理由として最も多いものは予約の取り難さである。また、島嶼会館の部屋の広さ・サービス・設備を利用しない理由に挙げた回答者は少ない。
- ・「その他」の理由の記述された内容を分類・整理した（図 2-5）。その結果、数は僅かではあるが、「喫煙」「ペットとの宿泊」がニーズとしてあることが伺える。なお、自由記述された内容のうち、既存の選択肢に対応する「予約が取り難い」「親戚や家族、自身の家に泊まる」等の記述については、図 2-4 の結果に含めてある。また、「旧館を利用していた」「利用する」等の無関係な記述は除外した。

3. 利用目的（問 2-1）

- ・問 2-1 から問 2-8 の結果は問 1 で「宿泊経験あり」と答えた回答者(N=2101)のみを対象とした(問 2-4 を除く)。また、属性との関係を示す場合はその属性に無回答の数を除いた N 数を示した。
- ・利用目的（図 3-1）は通院が最も多い。「その他」として記述された内容を整理・分類した結果（図 3-2）、冠婚葬祭や家族関係の行事に伴うものが大半であった。
- ・利用目的と回答者属性（年代・町村・職業・性別）の関係を以下見ていく。なお、本設問は単数形式としていたが、回答票上では複数の選択肢を選ぶ回答者が多かった。そこで、以下の図表では各属性の人数に対する選択肢の選択率で結果を示す。そのため、バーの合計は 100%以上となる。
- ・年代別（図 3-3）では、年齢が上がるにつれて「ビジネス」「レジャー」が減り、「通院」「その他」が増える。「通院」については 60 代以上からの増加が顕著である。
- ・町村別（図 3-4）では、青ヶ島村が「ビジネス」の割合が非常に大きい。これは、回答者中の公務員の割合が大きいことによるものと思われる。利島村と御蔵島村も回答者数が少ないので除外すると、残る町村では小笠原村が「レジャー」が多く「通院」が少ないことが特徴的である。
- ・職業別（図 3-5）では、公務員のみ「ビジネス」の割合が 7 割以上と多い。その他・無回答は 5 割が「通院」、4 割が「レジャー」を選んでおり、「ビジネス」「その他」を回答したのは 2 割程度。これら以外の職業はサンプル数が 67～132 と少ないが、建設業や飲食業で「通院」の割合が少ない傾向。
- ・性別（図 3-6）では、「ビジネス」の割合が男性では 4 割、女性では 2 割程度と顕著な差が見られた。また、女性は「レジャー」の割合が男性より高い傾向が見られる。

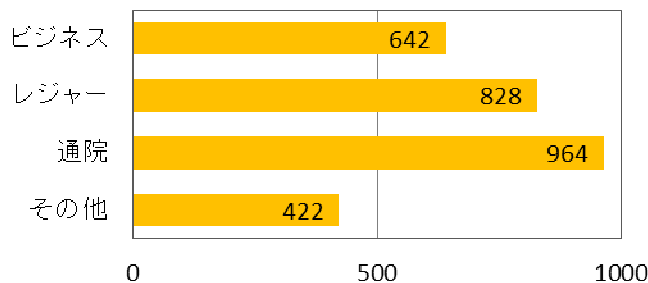


図 3-1 利用目的（複数選択式）(N=2101)

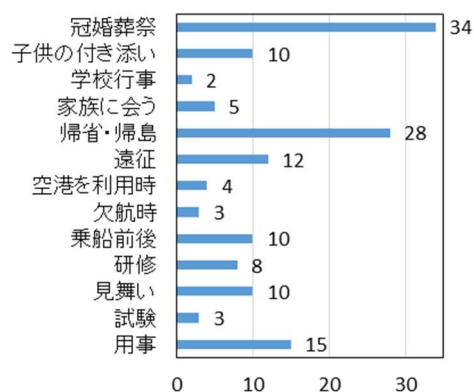


図 3-2 利用目的（自由記述）

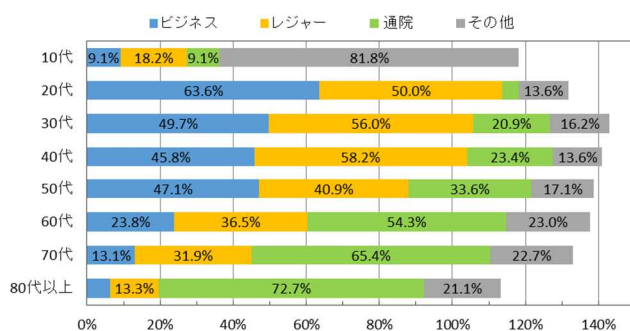


図 3-3 利用目的（年代別）(N=2070)

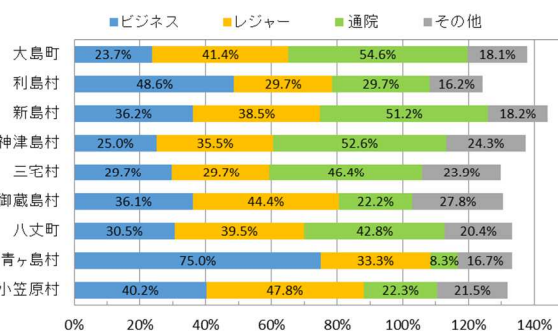


図 3-4 利用目的（町村別）(N=2084)

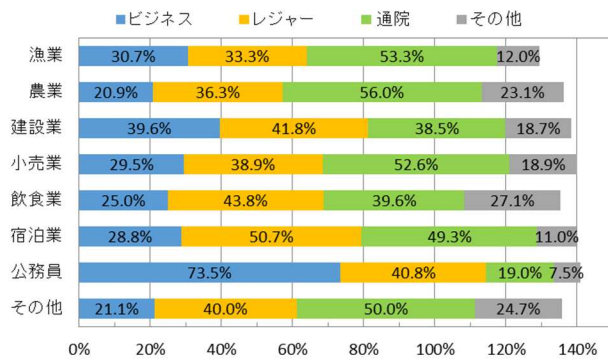


図 3-5 利用目的（職業別）（N=2070）

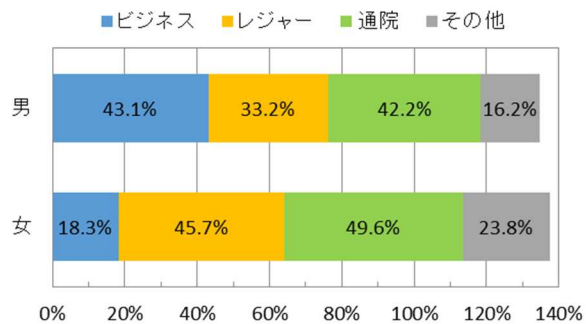


図 3-6 利用目的（性別）（N=2070）

4. 平均宿泊滞在数（問 2-2）

- ・平均滞在数（図 4-1）は、8 割は 1～3 泊程度であり、長期利用者は殆どいない。
- ・年代別（図 4-2）では、10 代、20 代、80 代以上を除いた年代では、全体と同様の傾向である。また、年代が上がると概ね 2 泊以上の利用者が増える傾向が見られた。7 泊以上の長期利用者は数少ないが、全員 50 代以上であった。
- ・町村別（図 4-3）では、サンプル数の少ない利島村・青ヶ島村を除いて、大島町・三宅村では 1 泊が多く、新島村・八丈町・小笠原村で 2 泊以上の利用者が 6 割弱ほどとなる。町村別の利用頻度（図 5-3）でも、大島町・三宅村は頻度がやや高く、新島村・八丈町・小笠原村は頻度が低い傾向があることから、内地との間の交通の便の悪い町村は内地を訪れる頻度が少ないが、訪れた際には連泊していく割合が比較的やや高いと思われる。
- ・職業による大きな差異は見られないが（図 4-4）、公務員で 4～6 泊の割合がやや高い。
- ・性別による大きな差異も見られないが（図 4-5）、男性は 4 泊以上の利用者がわずかに多い。

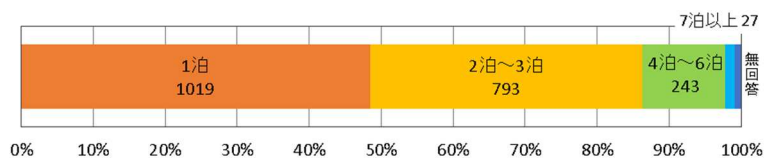


図 4-1 平均宿泊滞在数（N=2101）

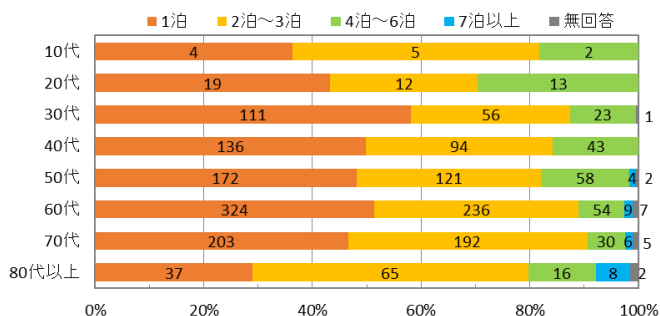


図 4-2 平均宿泊滞在数（年代別）（N=2070）

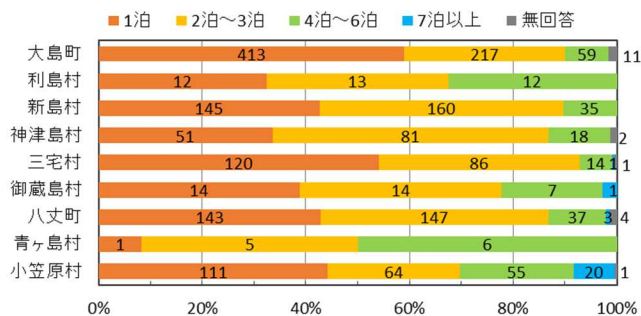


図 4-3 平均宿泊滞在数（町村別）（N=2084）

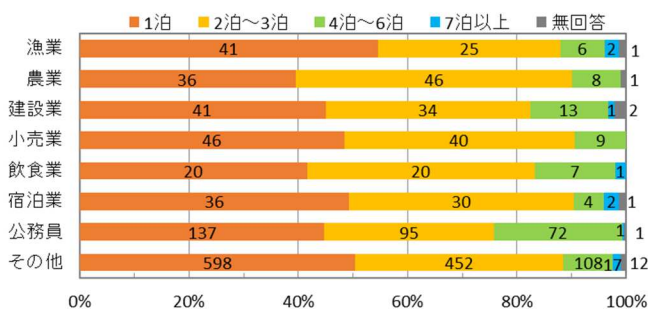


図 4-4 平均宿泊滞在数（職業別）（N=1966）

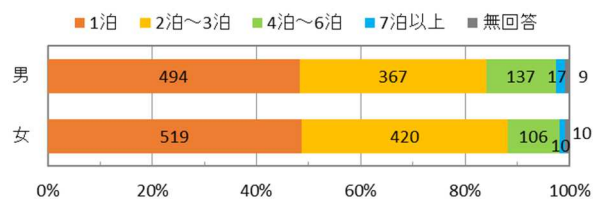


図 4-5 平均宿泊滞在数（性別）（N=2089）

5. 利用頻度（問 2-3）

- ・利用頻度（図 5-1）は全般的に見て「年数回」という単位で計れる程度であり、毎月利用する人は 1 割に満たない。
- ・年代別（図 5-2）では、10 代を除き、年代が上がるごとに「半年に 1 回」以上の割合が減っていく傾向が見られる。
- ・町村別（図 5-3）では、全体的には内地から距離のある町村ほど頻度が低くなる傾向だが、神津島村・三宅村・御蔵村は大島町とさほど変わらない。これらも内地との間の交通の便の良し悪し（空港の有無、飛行機や船の便数など）が影響していると思われる。※町村別の平均滞在数と絡めた考察は、前章参照。
- ・職業別（図 5-4）では、公務員は頻度が高く、宿泊業は頻度が低い傾向が見られ、職業柄の特徴が伺える。
- ・性別（図 5-5）では、男性はわずかに頻度が高い傾向が見られ、性別の利用目的（図 3-6）を踏まえると、男性は「ビジネス」目的の利用がやや多いことが要因と考えられる。

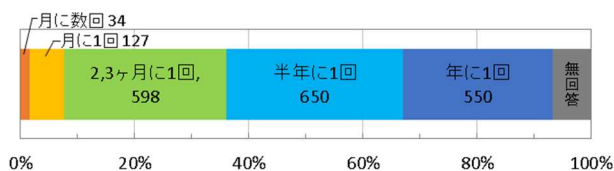


図 5-1 利用頻度 (N=2101)

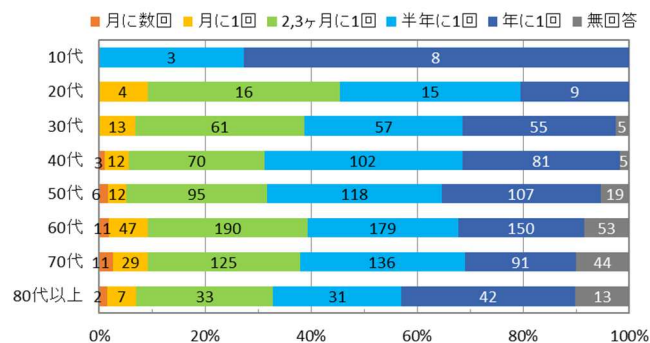


図 5-2 利用頻度（年代別） (N=2070)

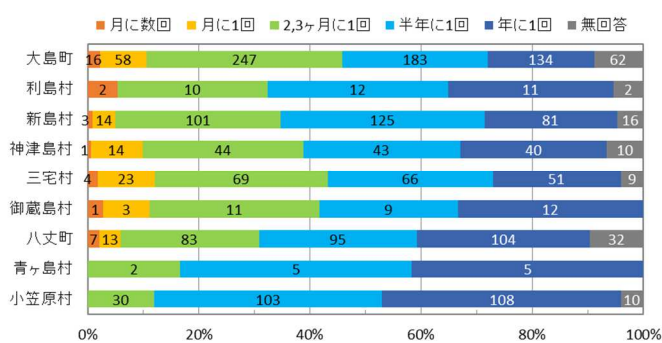


図 5-3 利用頻度（町村別） (N=2084)

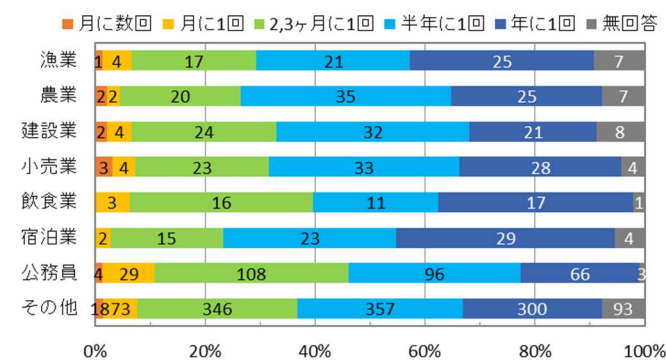


図 5-4 利用頻度（職業別） (N=1966)

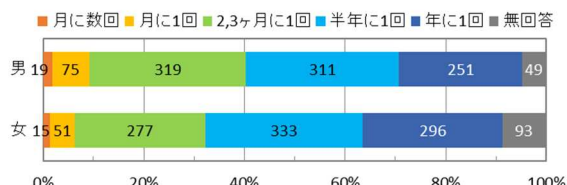


図 5-5 利用頻度（性別） (N=2089)

6. 利用者の予約手段（問 2-4）

- ・この項目は宿泊経験の有無に関係がないと思われること、また宿泊経験無しでありながらこの項目に答えた回答者が 36 件あったことを踏まえて、全回答者を対象とした。この 36 件の内、「予約を試みたが、一度も取れなかったために宿泊経験が無い」という回答は 10 件であった。
- ・予約手段（図 6-1）は電話が圧倒的。
- ・年代別に見ると（図 6-2）、どの年代でも電話が最も多いが、ネット予約の利用者は 20～50 代に多い。
- ・町村別に見ると（図 6-3）、青ヶ島村・小笠原村で電話予約が 5 割を切り、青ヶ島村・小笠原村・御蔵島村でネット予約が 3 割以上と多い傾向が見られる。
- ・職業別にみると（図 6-4）、公務員は電話予約の割合が他よりも低く、ネット予約の割合が高い。漁業・小売業・飲食業・職業不明は、7 割以上が電話予約を回答している。
- ・性別による差異は見られない（図 6-5）。

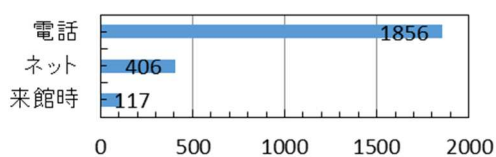


図 6-1 予約手段（N=2830）

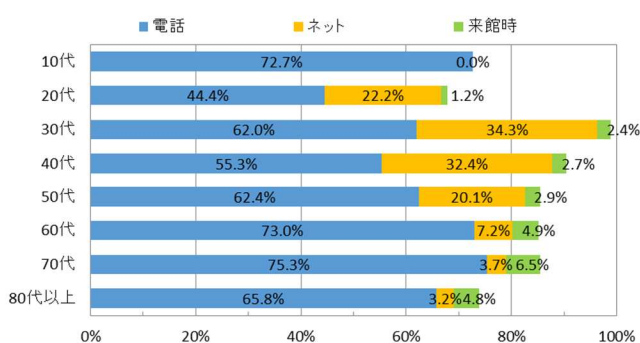


図 6-2 予約手段（年代別）（N=2789）

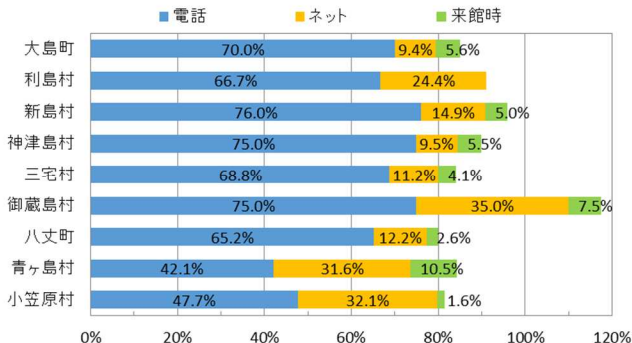


図 6-3 予約手段（町村別）（N=2799）

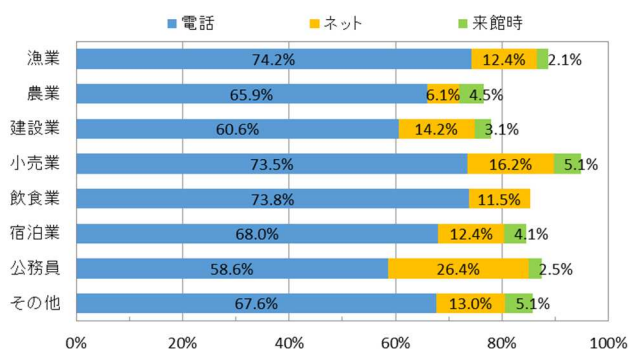


図 6-4 予約手段（職業別）（N=2666）

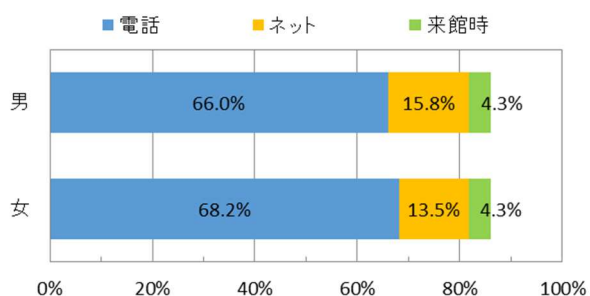


図 6-5 予約手段（性別）（N=2809）

7. 料金への評価（問 2-5）

- ・宿泊料金（図 7-1）は「妥当」から「非常に安い」が 8 割を超える。
- ・年代別（図 7-2）では、10 代・80 代以上の両端を除くと概ね同じ傾向であるが、60 代・70 代で「安い」側がわずかに少ない。10 代では「高い」側が 4 割近くと多く、80 代以上では 1 割程度と少なくなるが、経済力や金銭感覚が他の年代と異なるためであると考えられる。
- ・町村別（図 7-3）では、大きな差異は無いが、三宅村で「高い」側の割合がやや増え、八丈町・小笠原村で「安い」側の割合がやや増える。
- ・職業別（図 7-4）では、漁業で「高い」側の割合が増え、建設業・公務員で「安い」側の割合が増える。
- ・性別（図 7-5）では、男性で「安い」側の割合がやや増える。

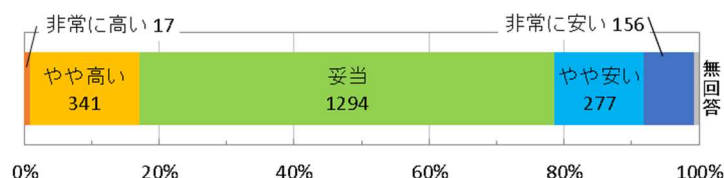


図 7-1 宿泊料金 (N=2101)

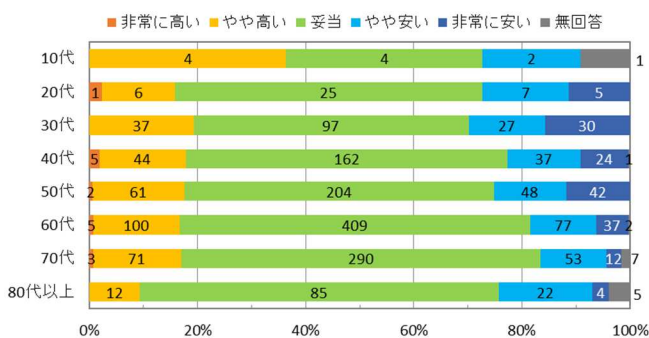


図 7-2 宿泊料金（年代別）（N=2070）

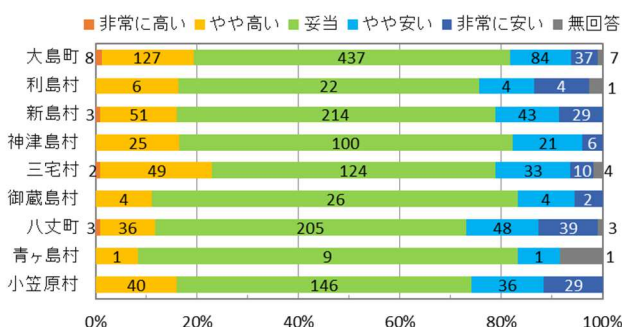


図 7-3 宿泊料金（町村別）（N=2084）

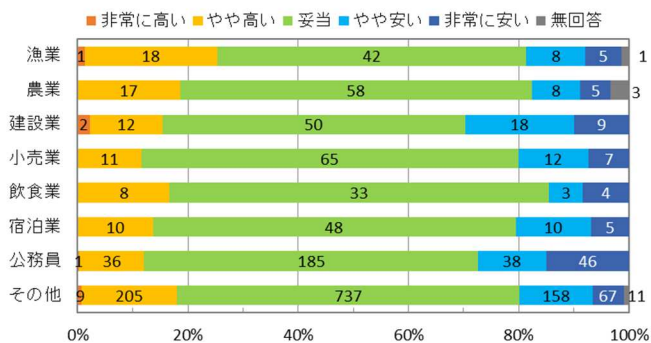


図 7-4 宿泊料金（職業別）（N=1966）

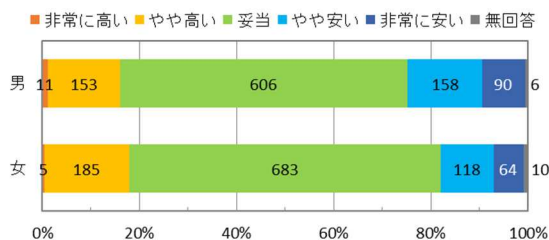


図 7-5 宿泊料金（性別）（N=2089）

8. 部屋の好み（問 2-6）

- ・この項目では、和室と洋室の両方に記入した回答や、「場合による」という記述が添えられた回答は「どちらでも良い」に含めた。この内、「家族で宿泊の場合は和室、1人で宿泊の場合は洋室」という回答が3件あった。
- ・全体では、和室派は2割、洋室派は6割弱である（図 8-1）。
- ・年代別（図 8-2）では、サンプル数の少ない10代を除くと、30代40代でのみ和室派が4割前後と多くなる。これらの世代は、子供を連れた家族で宿泊した際に和室を希望することが多いためだと考えられる。
- ・町村別（図 8-3）では、サンプル数の少ない町村を除いて、大きな差異は見られない。
- ・職業による大きな差異は見られないが（図 8-4）、飲食業・小売業などで和室派がやや少ない傾向。
- ・性別による差異は見られない（図 8-5）。

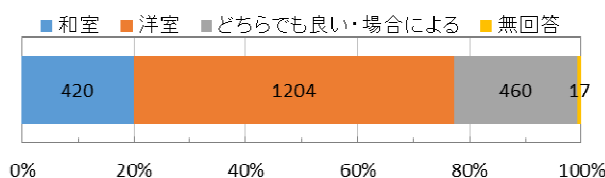


図 8-1 和洋室の好み (N=2101)

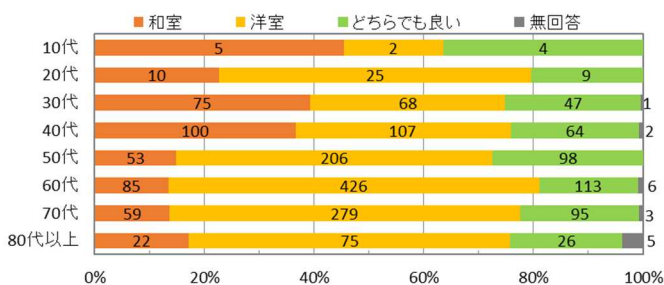


図8-2 和洋室の好み（年代別） (N=2070)

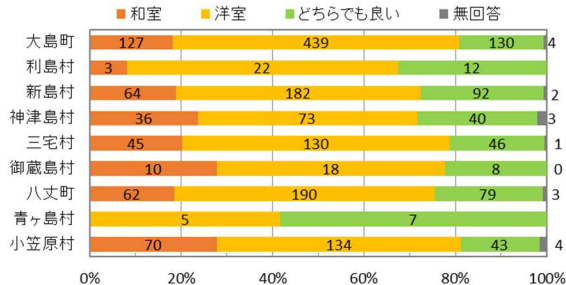


図8-3 和洋室の好み（町村別） (N=2084)

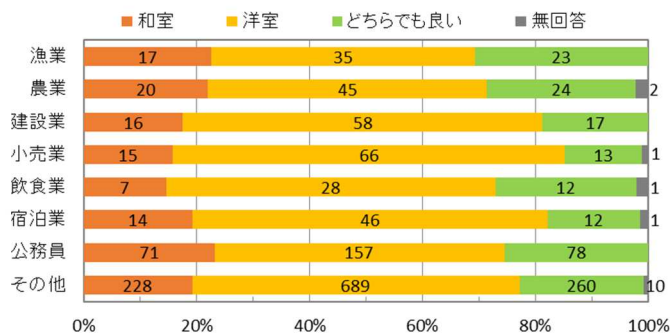


図8-4 和洋室の好み（職業別） (N=1966)

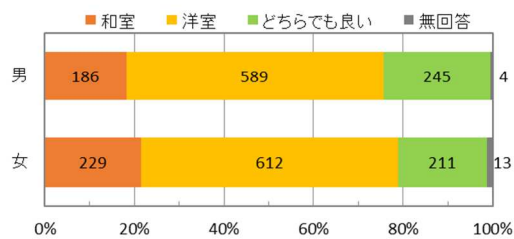


図8-5 和洋室の好み（性別） (N=2089)

9. 島嶼会館のレストランの利用（問 2-7）

- ・この項目では、「場合による」等の趣旨の回答（「利用する」「利用しない」の両方に記入したものや文章を添えたもの）が 26 件あり、これらは「利用しない」のみの回答と合わせて「利用しない・場合による」とした。
- ・朝食は過半数が利用するが、夕食の利用者は 2 割に満たない（図 9-1）。性差はない（図 9-2）。
- ・以下、属性との関係を見ていく。各グラフは左半分（青・緑）が朝食、右半分（赤・黄）が夕食を示している。
- ・年代別（図 9-3）では、10 代を除いて、年齢が上がるにつれて朝食・夕食ともに利用者が増える傾向がある。
- ・町村別（図 9-4）では、利島村・御蔵島村・青ヶ島村で朝食利用者がやや少なく、青ヶ島村で夕食利用者が多いが、いずれもサンプル数が少ない。これらを除くと町村による大きな差異は見られないが、八丈町は夕食利用者がわずかに多い傾向。
- ・職業別（図 9-5）では、「朝食を利用する」割合については、農業・飲食業は 7 割前後と多く、小売業や公務員は 5 割に満たない。「夕食を利用する」割合については、漁業・農業・飲食業・その他・職業不明でわずかに多いが、ほとんどの職業で 2 割以下となっている。

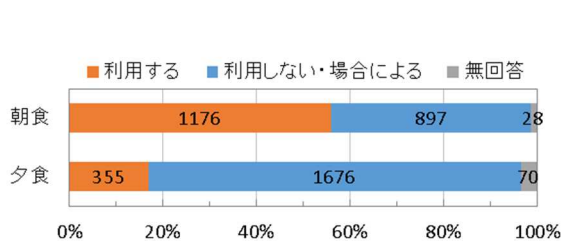


図 9-1 レストランの利用有無（N=2101）

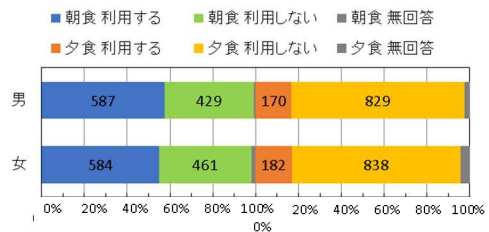


図 9-2 レストランの利用有無（性別）（N=2089）

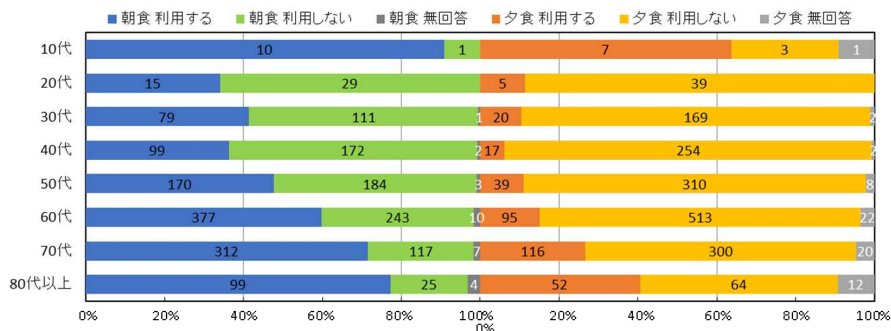


図 9-3 レストランの利用有無（年代別）（N=2070）

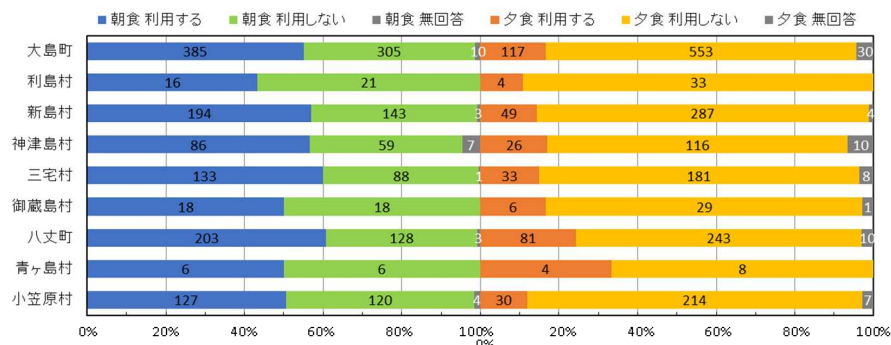


図 9-4 レストランの利用有無（町村別）（N=2084）

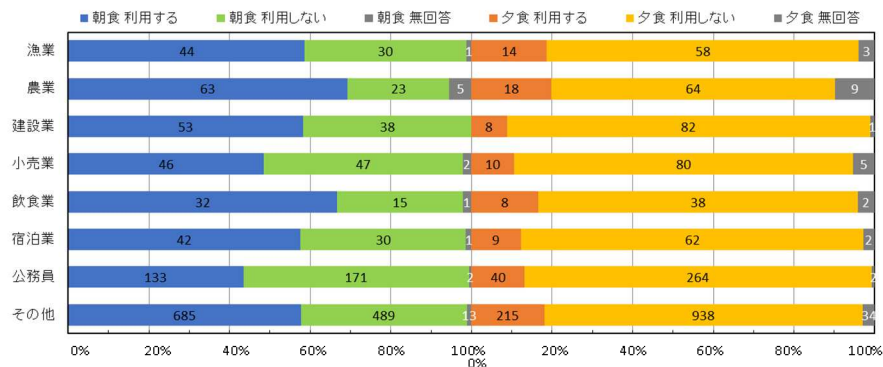


図9-5 レストランの利用有無（職業別）（N=1966）

- ・朝食夕食ともに「利用しない・場合による」と答えた回答者（朝食 897 人、夕食 1676 人）が挙げた、食事の手段と利用しない理由（どちらも複数選択式）の分布をそれぞれ図 9-6、図 9-7 に示す。横軸は「宿泊経験あり」の回答者すべてに対する割合を示している。
- ・食事手段では、朝食はコンビニが外食よりやや多い程度であるが、夕食は宿泊者の 5 割以上が外食を選択した。
- ・利用しない理由としては「その他」が朝夕ともに最多である。朝食では営業時間の遅さの指摘が目立つ。なお、この設問の選択肢は朝食と夕食で異なり、「営業時間が遅い」は朝食のみ、「知らなかった」は夕食のみで選択可能であった。
- ・「その他」の記述（図 9-8）では夕食で外食利用を挙げた人が顕著である。「子供がいるため」「部屋で過ごしたい」「雰囲気悪い」「サービス悪い」の指摘は朝夕とも同様に挙がっている。

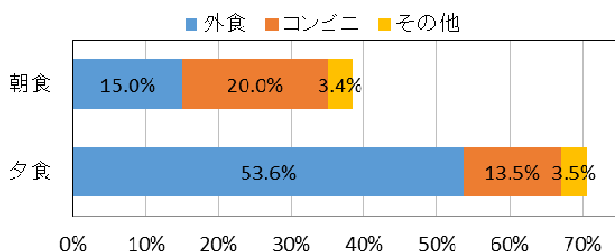


図 9-6 利用しない場合の食事手段

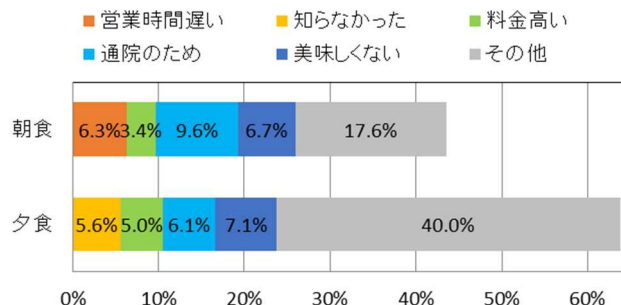


図 9-7 利用しない理由

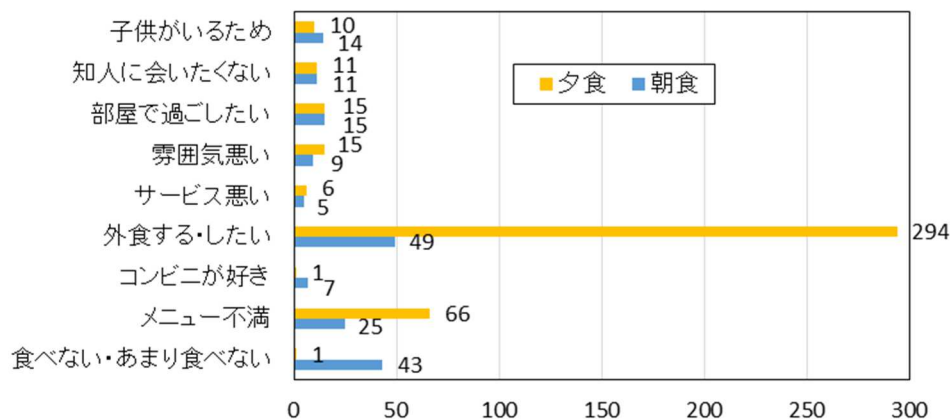


図 9-8 レストランを利用しない理由（自由記述）

10. 利用者の満足度（問 2-8）

- ・全体的な満足度（図 10-1）は「満足」の回答が 7 割を超え、「不満」と答えた回答は 5%未満であり、利用者は大部分が満足している。
- ・年代別（図 10-2）では、20 代から 40 代は、「満足」の割合が 8 割前後であり、40 代で最も評価が高い。また、50 代以上は「満足」の割合は 7 割に満たず、やや評価が低い傾向。一方、「不満」の割合は 10 代以外の年代に万遍なく 5%前後ずつ分布している。
- ・町村別（図 10-3）では、青ヶ島村は「満足」の割合が 5 割と比較的低いが、サンプル数が少ない。また、神津島村も「満足」の割合が 6 割を切り、やや低い傾向である。一方で、「不満」の割合に大きな差異は見られない。
- ・職業別（図 10-4）では、飲食業・宿泊業・公務員は「満足」側の割合が高く、漁業・農業・建設業は「満足」側の割合がやや低い。また、漁業は「不満」側の割合が比較的高い。宿泊業・飲食業からは高評価である。
- ・性別（図 10-5）では、女性は「満足」側の割合がわずかに高くなり、「非常に満足」は男性よりも 9%弱高い。

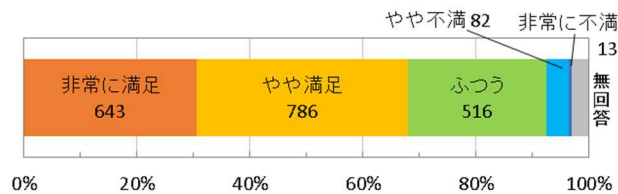


図 10-1 全体的な満足度 (N=2101)

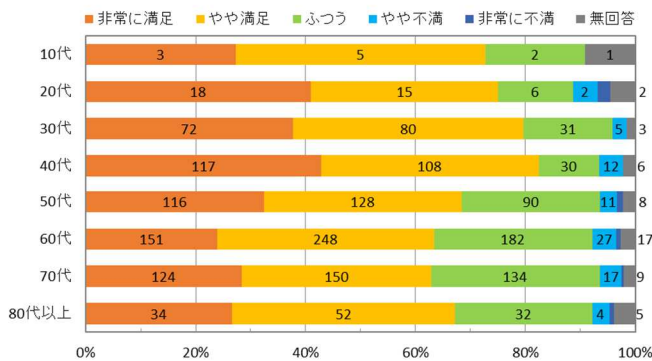


図 10-2 全体的な満足度（年代別）(N=2070)

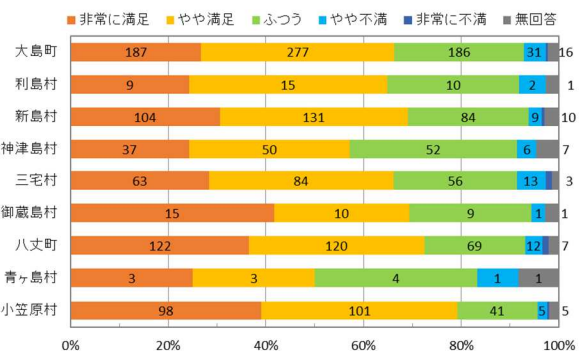


図 10-3 全体的な満足度（町村別）(N=2084)

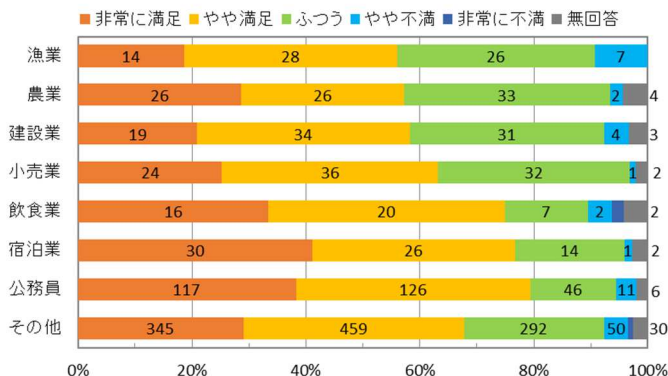


図 10-4 全体的な満足度（職業別）(N=1966)

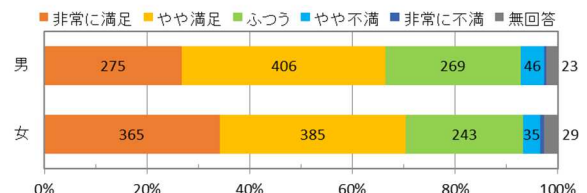


図 10-5 全体的な満足度（性別）(N=2089)

11. 島嶼会館を知った経緯（問3）

- ・これ以降の項目は全回答者を対象とした。
- ・島嶼会館を知った経緯（図 11-1）は、「知人紹介」が圧倒的に多く、次いで「その他」、「ホームページ」、「広報」である。「知らなかった」という回答は 1.4%とごくわずかであり、回答者のほぼ全員に認知されている。「その他」の記述は約 600 件あったが、そのほぼ全てが「島民だから知っている・昔から知っている」というものであり、僅かに会社・学校での利用経験の指摘があった。
- ・年代別（図 11-2）では、20 代は 6 割程度が「知人紹介」と最も多い。また、10 代は「その他」が最も多いが、サンプル数が 10 件と少ない。30 代・40 代は「ホームページ」「知人紹介」の回答が多く、50 代以上は「広報」の回答が多い。年代によって用する情報媒体が異なることが如実に表れている。
- ・町村別（図 11-3）では、サンプル数が少ない利島村・青ヶ島村を除外すると、神津島村は「知人紹介」の割合が低く、小笠原村は「ホームページ」の割合が多い。これらは、年代分布の影響と考えられる。
- ・職業別（図 11-4）では、建設業・公務員は「ホームページ」が相対的に多く、また公務員は「知人紹介」も多い。自由記述の「職業上知っている」という回答も全て公務員である。
- ・性別（図 11-5）では、男性は「ホームページ」が相対的にわずかに多く、女性は「知人紹介」がわずかに多い。インターネットの利用や世間話などの習慣に、若干の性差があると考えられる。

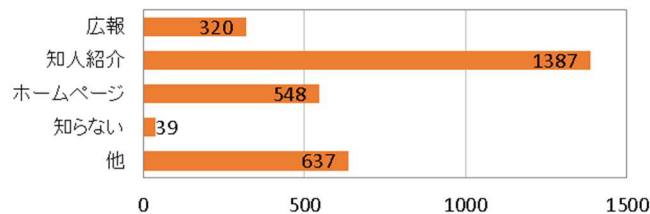


図 11-1 島嶼会館を知った経緯 (N=2830)

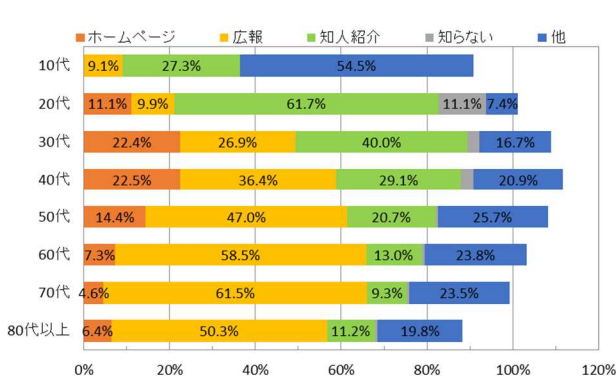


図 11-2 知った経緯 (年代別) (N=2789)

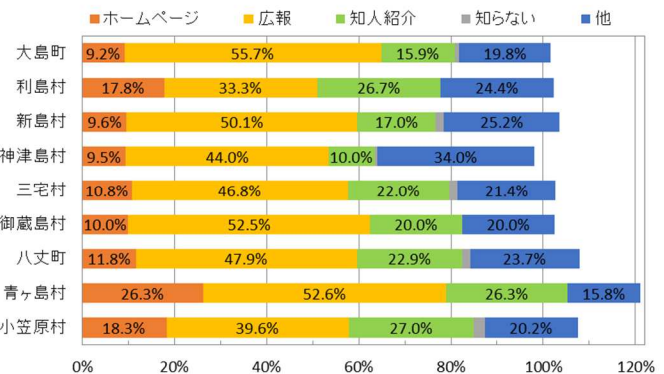


図 11-3 知った経緯 (町村別) (N=2799)

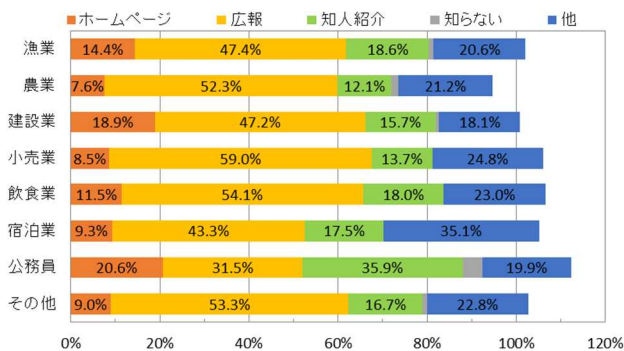


図 11-4 知った経緯 (職業別) (N=2666)

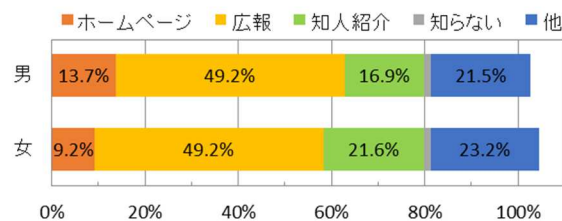


図 11-5 知った経緯 (性別) (N=2809)

12. 宿泊施設を選ぶ際の重要点（問4）

- ・全回答者の8割以上が「交通の便」および「料金」を挙げた（図12-1）。次いで「設備が良い」が多く、「食事」や「コンビニの近さ」を挙げた回答者は2割弱である。「その他」の自由記述（図12-2）では、「清潔さ」が最多であるが、「予約取りやすさ」「喫煙可」等のニーズも述べられている。
- ・年代別（図12-3）では、20～50代は概ね同じ傾向であり、60代以上では年齢が上がるにつれて、1人あたりの回答項目数が減り、なおかつ「料金」の割合が減っていき、「食事」の割合が増えていく傾向がある。「交通の便が良い」は30代・50～70代でやや高いが、年代による差異はそれほど大きくない。10代はサンプル数が非常に少ないが、選択項目数が多い傾向であり、「食事」と「設備」を挙げた割合が高く、「交通の便が良い」の割合はやや小さい。
- ・町村別・職業別（図12-4、12-5）では、選択項目数に違いがあるものの、各項目の分布に大きな差異はない。
- ・性別（図12-6）では、女性は全項目で男性より割合が高く、より全般的に判断する傾向があると考えられる。

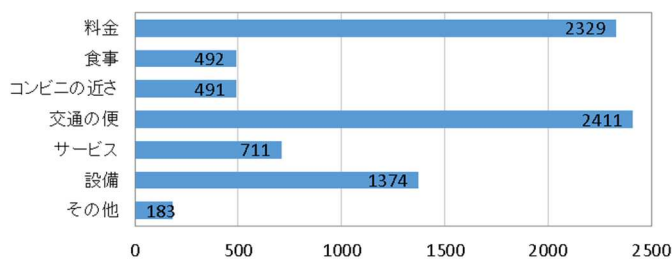


図12-1 宿泊施設選択時の重要点 (N=2830)



図12-2 宿泊施設選択時の重要点(自由記述)

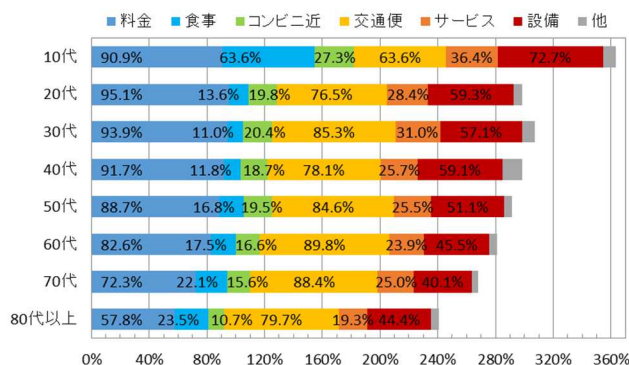


図12-3 宿泊施設選択時の重要点 (年代別) (N=2789)

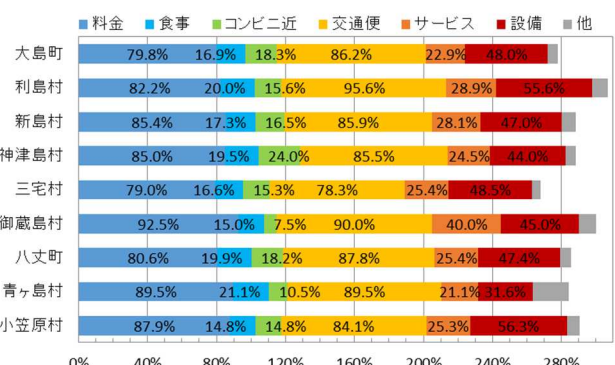


図12-4 宿泊施設選択時の重要点 (町村別) (N=2799)

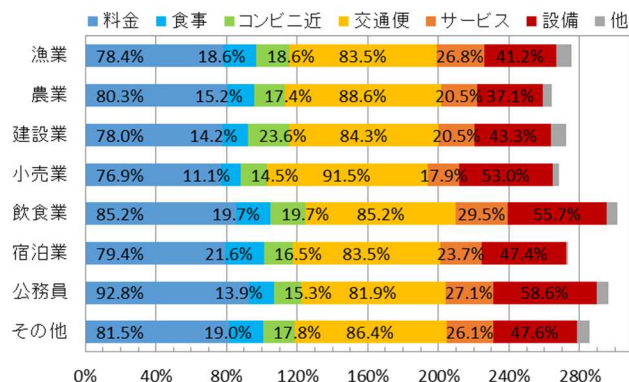


図12-5 宿泊施設選択時の重要点 (職業別) (N=2666)

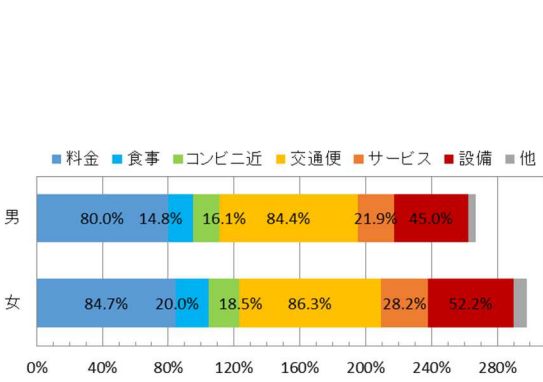


図12-6 宿泊施設選択時の重要点 (性別) (N=2809)

13. 島嶼会館以外の宿泊場所と宿泊目的（問 5）

- ・回答者のうちの約 1600 人が島嶼会館以外に宿泊する際の具体的な最寄駅名を挙げており、集計すると 218 駅となった。東京都にある駅が約 630 であることから、島嶼部住民の泊まる宿は都内に広く分布していると考えられる。
- ・挙げられた駅名の分布を図 13-1 に示す。5 人以上の指摘がある 49 駅だけで全体の 86%を占めた。グラフを見やすくするため、指摘人数が 4 名以下の駅（169 駅）はまとめてある。
- ・上位の浜松町から竹芝までで全体の 59%を占める。
- ・島嶼会館周辺の駅（青棒）は、全体の 57%を占めた。
- ・調布飛行場周辺の駅（赤棒）は、全体の 5%を占めた。
- ・指摘数が 4 人以下だった駅は表 13-1 に示した。

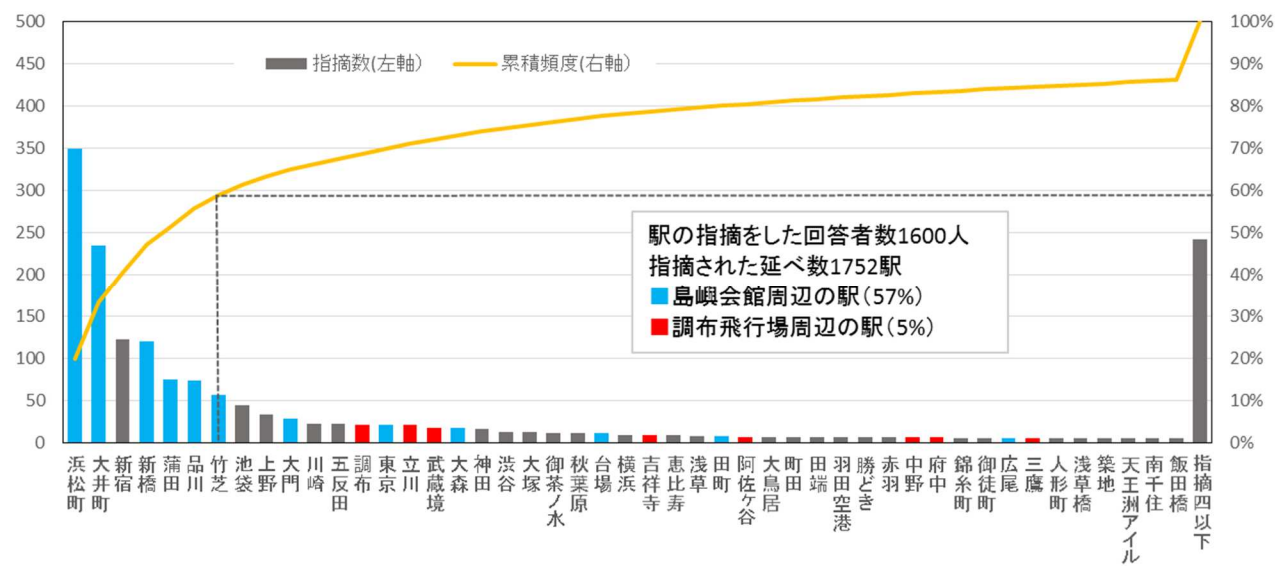


図 13-1 島嶼会館以外の宿泊場所の最寄り駅（指摘数 5 以上の駅）

表 13-1 島嶼会館以外の宿泊場所の最寄り駅（指摘数 4 以下の駅）

指摘数	指摘された駅名
4人指摘(5駅)	亀戸,銀座,高田馬場,日暮里,目黒
3人指摘(14駅)	王子,荻窪,国分寺,新小岩,西葛西,千歳船橋,町屋,田無,八王子,豊洲,麻布十番,有楽町,両国,練馬
2人指摘(30駅)	ひばりヶ丘,羽田,浦田,永田町,経堂,高円寺,高尾,国際展示場正門,三軒茶屋,四ツ谷,志木,汐留,芝大門,十条,小岩,水道橋,西日暮里,青物横丁,船堀,巣鴨,竹ノ塚,馬喰町,板橋,武蔵小金井,舞浜,平井,北千住,本郷三丁目,目白,有明
1人指摘(120駅)	つつじヶ丘,浦和,曳舟,永山,永福,下高井戸,葛西,関内,旗の台,亀有,久米川,久里浜,牛浜,金町,銀座一丁目,駒込,月島,戸越,後楽園,江原,江戸川橋,港松町,港南台,溝の口,根岸,根津,埼玉,桜上水,桜島町,笹塚,三ノ輪,参宮橋,市ヶ谷,芝弥生会館,小平,昭島,昭和島,松戸,上大岡,新横浜,新三河島,新富町,神保町,逗子,吹上,成増,聖蹟桜ヶ丘,西国分寺,西新宿,西千住,西川口,西馬込,青井,青山一丁目,石川町,赤坂,赤坂見附,赤鳥居,仙川,千葉,川越,相模湖,相模大野,多摩センター,多摩霊園,大岡山,大間,大久保,大山,大森町,大鳥井,大塚等,大島,谷塚,中目黒,中野坂上,鶴見,天王州,天王洲,都庁前,東高円寺,東十条,東小金井,東松山,東新宿,東大前,東中野,東陽町,南町田,南与野,日比谷,日本橋,入間,入間市,熱海,馬堀海岸,梅屋敷,梅島,柏,白山,幡ヶ谷,八丁堀,表参道,品川シーサイド,浜松,布佐,浮間舟渡,武蔵関,武蔵小山,武蔵増戸,武蔵中原,福生,本所吾妻橋,木場,門前仲町,与野,立会川,和光,和光市,鶯谷

- 次いで、島嶼会館以外で宿泊する際の目的を示す。
- ・他の宿泊場所での利用目的（図13-3）は、大部分が3章「利用者の利用目的（問2-1）」と同様の傾向を示す結果となった。なお、本設問は複数形式、問2-1は単数形式であったため、本設問は全体的に選択項目数が大きくなっている。
 - ・他の宿泊場所で「その他」で挙げられた内容（図13-4）は、島嶼会館の利用目的で挙げられたものと同様の内容となった。

- ・年代別（図13-5）では、10代の8割以上が「その他」を挙げている点が大きく異なるが、サンプル数が少ない。
- ・町村別（図13-6）では、青ヶ島村はサンプル数が少ないながら、割合から「ビジネス」が半減、「通院」が倍増している傾向がみられる。
- ・職業別・性別（図13-7、13-8）でも、同様の傾向である。

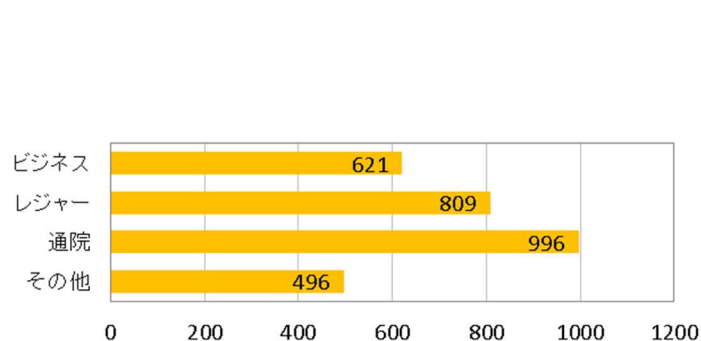


図13-3 他の宿泊場所の利用目的(N=2830)

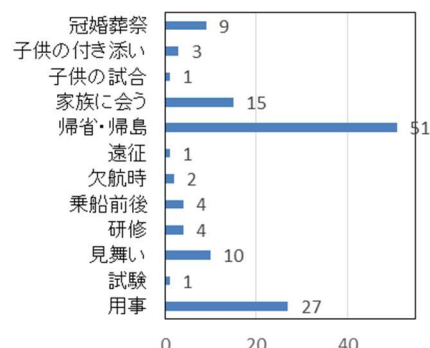


図13-4 他の宿泊場所の利用目的 自由記述

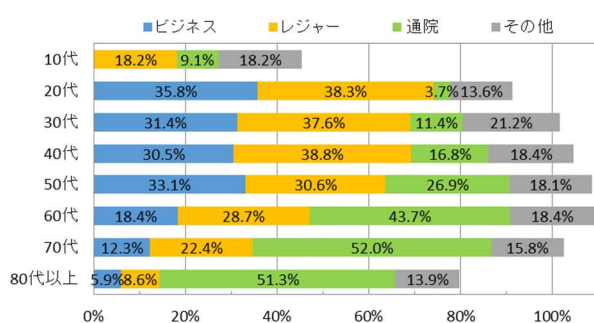


図13-5 他の宿泊場所の利用目的（年代別）(N=2789)

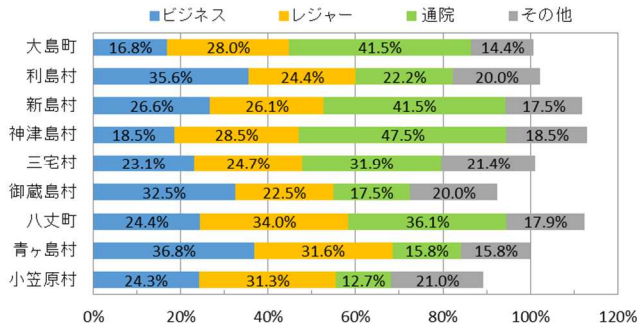


図13-6 他の宿泊場所の利用目的（町村別）(N=2799)

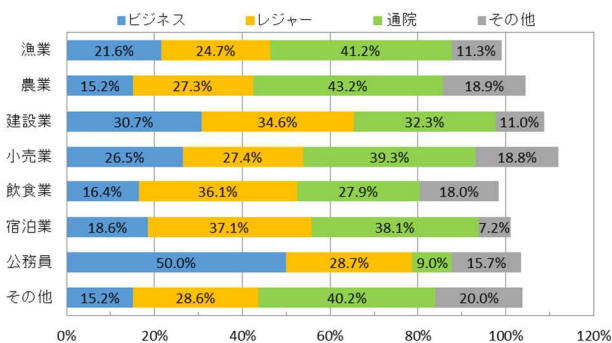


図13-7 他の宿泊場所の利用目的（職業別）(N=2666)

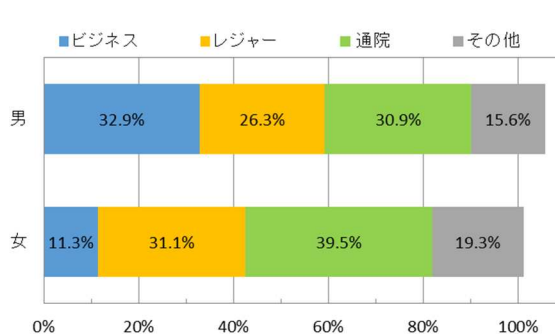


図13-8 他の宿泊場所の利用目的（性別）(N=2809)

14. 乗船等の前に島嶼会館を休憩や待ち合わせに利用するか（問6）

- ・「宿泊者以外の利用ができることを知らなかった（12件）」や「利用経験無いが、今後は利用したい（22件）」という趣旨の記述を欄の脇に記入している回答が目立ち、利用意思があると判断できる回答は「利用する、利用したい」として含めた。一方、補足記述をせず「利用しない」と回答した回答者の中に今後の利用意思を持つ者が一定数いる可能性が考えられる。
- ・全体では約6割が「利用しない」と回答し、「利用する、利用したい」は4割に満たない（図14-1）。
- ・年代別（図14-2）では、サンプル数の少ない10代を除くと、「利用する、したい」の割合が、20代は2割、30～60代で3割前後、70代以上で4割強と、年齢が上がるにつれて増える。年代によって利用目的が異なり（図3-3）、スケジュールの余裕があるかどうか異なることや、遠出する際の身体的な負担の大きさが変わることが影響している可能性が考えられる。
- ・町村別（図14-3）では、「利用する、したい」の割合が、大島町から三宅村までの町村では4割弱であり、御蔵島村は6割と高く特徴的だが、サンプル数が少ない。八丈町は年代・職業の分布傾向が他町村と同様であるにも関わらず、「利用する、したい」が2割と極端に低い。
- ・職業別（図14-4）では、特に宿泊業は「利用する、したい」の割合が低い。
- ・性別（図14-5）では、女性は「利用する、したい」の割合がやや高い。

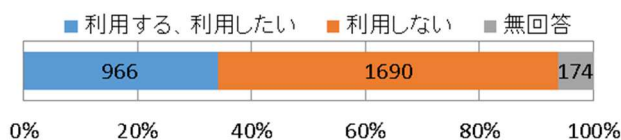


図14-1 休憩・待ち合わせ利用

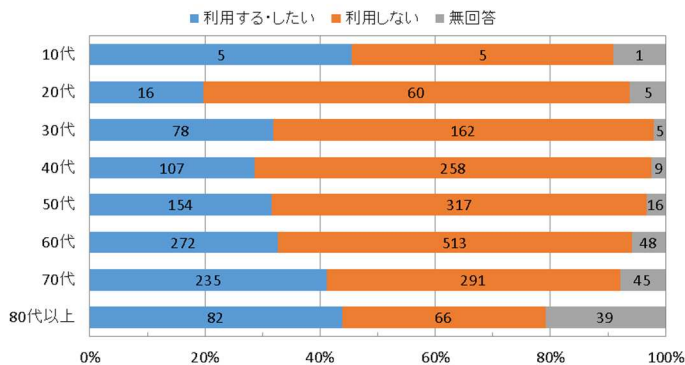


図14-2 休憩・待ち合わせ利用（年代別）(N=2830)

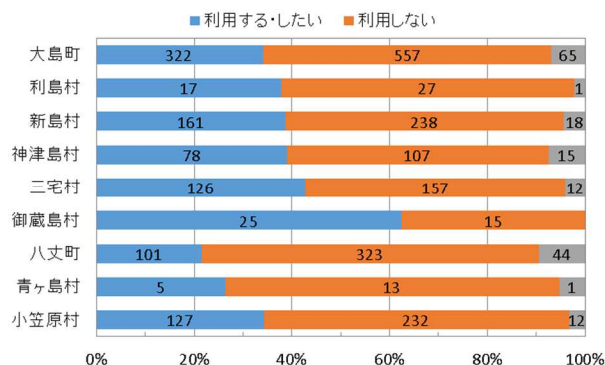


図14-3 休憩・待ち合わせ利用（町村別）(N=2799)

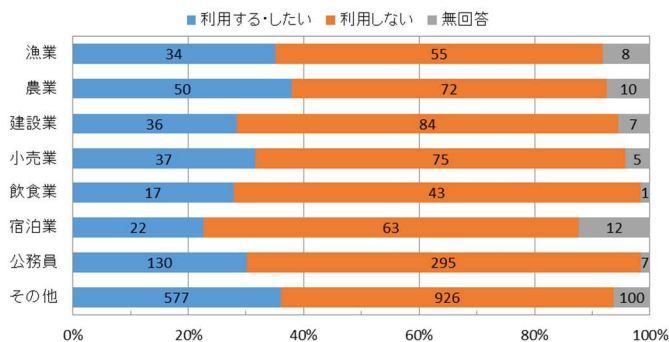


図14-4 休憩・待ち合わせ利用（職業別）(N=2666)

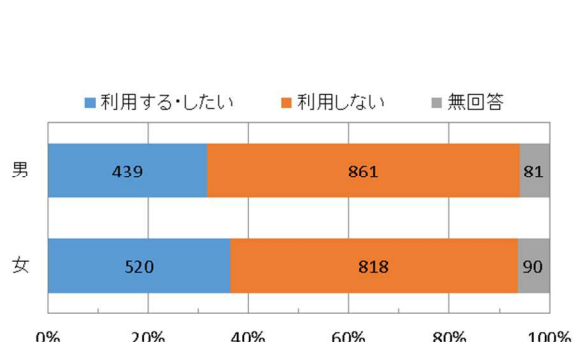
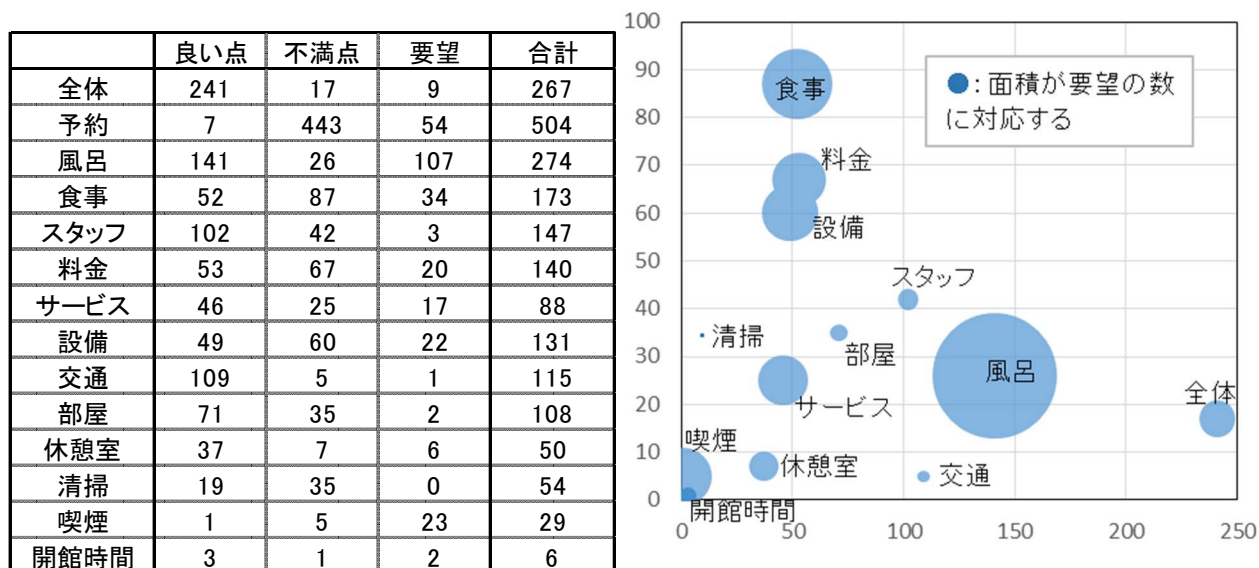


図14-5 休憩・待ち合わせ利用（性別）(N=2809)

15. 島嶼会館を利用して良かった点と不満／要望（問7）

- ・島嶼会館を利用して良かった点、不満点、要望に関する自由記述を集計し整理した（表 15-1）。「有難うございます」「今後も利用したい」「学校行事で利用した」等の設問主旨と異なる記述を除き、良い点・不満点・要望の三種ごとに集計した（表 15-1）。
- ・記述量では「予約」が圧倒的に多く、その大半は予約の取りにくさへの不満や要望である。次いで、「風呂」「全体」「食事」「スタッフ」と続く。「風呂」は良い点が多い一方で要望も多い。「全体」は良い点への言及が大半である。「食事」は不満点の記述も多い。「スタッフ」は良い点の記述が多い。
- ・図 15-1 は「予約」を除く内容について、横軸と縦軸を良い点と不満点の記述数でプロットし、更に要望点の記述数をマーカーの大きさを示したものである。これにより、各内容の位置づけが示される。例えば、「風呂」はグラフの右下寄りにあり、良い点は多く不満点は少ないが、マーカーが大きいことから要望も大きいことが示される。「食事」は逆に左上にあり不満と要望の双方が多いことが示される。

表 15-1 島嶼会館を利用して良い点、不満点、要望



- ・表 15-2 は各項目で挙げられた具体的な内容を抽出したものである。「風呂」については大浴場と客室の記述に分けた。同様に食事についても朝食と夕食に分けてある。表に付記した数値は記述の数であり、多いものについては赤字で示した。

表15-2 島嶼会館を利用して良い点/不満点/要望の具体的な記述

	主な良い点の記述	主な不満点の記述	主な要望
全 体	新しくなってきた。良かった。気持ちがよい 島民が安心して泊まれる	外国人客が多い(3) 清潔感がない(2)	きれいな会館を保つようにしてほしい(3) PRが足りない(2) 高齢者にもっと優しい会館になってほしい(2)
予 約	キャンセルが前日までできる	予約が取れない(426) 島民以外の宿泊客が多い(14) 予約の間違いが多すぎる(5) ネット予約がわかりづらい、いつも満室(5)	島民優先・島民のみにしてほしい(29) キャンセル料を無料にしてほしい(5) キャンセルをもっと厳しくすべき(7) キャンセル待ちできるようにしてほしい(8) ネット予約を充実してほしい(23) 欠航時など6階休憩室を夜間開放してほしい(2)
風 呂 (大浴場)	眺望が良く気持ちが良い 朝や出港前に入浴できてよい	風呂のみの利用ができない(6) 湯温度が低い(6) 利用時間が短い(4) 外から丸見え(11) 洗い場が少ない(3) 浴室内が暗い、脱衣所が狭い、桶がない(4)	入浴だけでも利用できるようにしてほしい(78) チェックアウト後も利用させてほしい(22) 冷水器を設置してほしい(5) サウナを設置してほしい(2)
風 呂 (客 室)	部屋にバス・トレイがあって便利	清掃が行き届いていない(5) タオル・アメニティが整っていない(3)	清掃をきちんとしてほしい(3)
食 事 (朝 食)	安くておいしい ボリュームがある 和洋食などが選べてよい サラダバーが嬉しい	メニューの改善・工夫してほしい(71) 営業開始時間が遅い(18)	もっと美味しくしてほしい・工夫してほしい(4) 子供用メニューを作してほしい(3)
食 事 (夕 食)	静かでよい 美味しい	メニューが少ない(7) 美味しくない・工夫してほしい(4)	夕食に力を入れてほしい(2)
スタッフ	親切・丁寧で安心できる	対応が悪い(26) 電話をとらない(21) スタッフ間の連絡がとれていない(19)	チェックイン・アウトの手続きを早くやってほしい(13)
料 金	安い、妥当	高い(62) 料金の計算ミスが多い(7) 追加の布団料金が高い(2)	一般料金を値上げしてほしい(11) 連泊割引、回数券制度を導入してほしい(9) 受験生、介護付添などのパック割引制度の導入(4)

表15-2 島嶼会館を利用して良い点/不満点/要望の具体的な記述

	主な良い点の記述	主な不満点の記述	主な要望
サービス		wifiがつながりにくい・遅い(4) 1階のコーヒーが切れていることが多い(2) チェックインで待たされることが多い(13) 荷物預かりが有料(3)	1階にコンビニを設置してほしい(11) ゆうパックを送れるようにしてほしい(4) アメニティを部屋に置いてほしい(8)
設備	全般的に良い コインランドリーがあってよかった ロッカーがあって便利 客室トイレ・シャワーが良い	コインランドリーが少ない、いつも使用中(23) ロッカーが少ない、小さい(6) 販売機の中身を改善してほしい(3) エアコン不備(2) ロビーにテレビを設置してほしい(2)	電子レンジを各階に置いてほしい(5) 加湿器を設置してほしい(2) 和室に高齢者用の高い座椅子を設置してほしい(2)
交通	交通の便が良い	タクシー利用時に不便(2) 駅から離れていて不便(2)	パンフレットの地図をわかりやすくしてほしい(2)
部屋	部屋がきれいで快適 和室が使いやすい 眺めが良い	部屋が狭い(6) 家族連れで使える大部屋(和室)がない(5) 寝具不備(和室)(4) 和室の布団が薄い(マットレスがほしい)(4) 入口が狭い(3) ルームチェンジができない(2)	遠征などで使える大部屋がほしい(3) ファミリールームを設置してほしい(2) ベビーベットの貸し出しをしてほしい(3)
休憩室	休憩室があると船待で助かる 利用しやすい	利用しにくい、利用方法がわからない(6) ペットの利用不可	休憩室に洗面所・更衣室がない 仕切りをつくってほしい 子供用スペースがほしい PRが足りない
清掃	清掃が行き届いている。きれい	清掃が行き届いていない(34) 寝具が汚れている(14) 清掃がチェックインまでに終わっていない(9) 清掃が勝手に部屋に入ってくる(7) 浴室が汚い(5) カビ・ダニが発生している(3) アメニティ不備が目立つ(3)	布団やカバーを変えてほしい(6)
喫煙	全室禁煙が嬉しい	喫煙所が狭い・少ない(9) 部屋がタバコ臭い(3)	喫煙可能な客室がほしい(18) 喫煙所を増やしてほしい(3)
開館時間	門限がないのが良い	チェックアウト時間をもっと遅くしてほしい(2)	24時間出入りできるようにしてほしい(2)